

「答え」のない課題に挑戦 実社会 vs 叡啓大学生

課題解決演習 中間報告会の開催 6月2日（金）13時30分～ 叡啓大学（広島市中区鞆町）

今月21日まで広島で開催されたG7広島サミットでは、世界を取り巻く課題について各国首脳などによる話し合いが行われ、解決に向けた道筋が示されました。

こうした様々な「課題を解決する力」を養う教育に力を入れる叡啓大学では、これまでも、「どうすれば広島交響楽団のコンサートを体験する若者が増えるか」（公益社団法人広島交響楽協会様）、「Z世代はコーヒーをどう捉えているのか」（UCC コーヒープロフェッショナル株式会社様）など、企業や自治体などが実際に抱える「リアルな課題」の提供を受け、広島県全体をキャンパスととらえたフィールドワークを経て、自分たちなりの視点で課題解決に挑んできました。

このたび、初めて報道機関の皆様にも公開する形で、現在取り組んでいる演習の中間報告会（3年生、個人発表）を行います。今後、さらなるフィールドワーク等を通じて最終報告会（グループによる発表）も予定していますので、ぜひご取材ください。

➤ 中間報告会

【日時】6月2日（金）13時30分～15時30分（予定）【場所】叡啓大学教室

（昨年の最終報告会の様子はこちら）<https://www.youtube.com/watch?v=cbRW7SSBXXs>

➤ 今後の予定

7月中旬 フィールドワークによるインサイト調査等

8月4日（金）最終報告会（グループによる発表）

■実社会のリアルな課題解決に挑んでいる学生たち

畑 名津美さん
(HATA Natsumi) 3年



将来の夢は、キッチンカーで全国を巡り、食や交流を通じてその地域に貢献すること。2年次の演習では、食品会社やNPO法人からのテーマを担当した。

小川ジョナサン海晟さん
(OGAWA Jonathan Kaisei) 3年



プラスチック製品の再利用システムをつくるなど、環境問題に貢献したいという夢があり、2年次の頃から今回のクライアントのイベント等に参画している。

■2人が取り組んでいる解決課題

（課題提供者）ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 様

（課題）「UMILE（ユーマイル）」プログラムを通して、日用品の使用済みプラスチック容器の回収に取り組んでいるユニリーバ。広島県内でより多くの人々に同プログラムに参加してもらい、プラスチックごみの削減・資源循環の仕組みをつくるには？

という課題（テーマ）の提供を受け、15名の学生が挑戦中。

【取材に関する問い合わせ先】

取材いただける場合は、6月1日（木）12:00（正午）までに、お電話又はメールでご連絡ください。

教育企画課（越智・日浦） TEL:080-9208-0466 E-mail:publicrelations@eikei.ac.jp

■これまでの様子

3年生が現在取り組んでいるテーマ

クライアント様（課題提供者）	テーマ
<ものづくりラジオチーム様> 平岡工業株式会社様、株式会社やまだ屋様、 株式会社晃祐堂様、株式会社マルニ木工様、 広島エフエム放送株式会社様	世界の「ものづくり」を盛り上げるための活動とは何か
ユニリーバ・ジャパン・ カスタマーマーケティング株式会社様	「ビジネス（売上）」と「パーパス（社会貢献）」の両立を目指す地域資源循環モデル「Unite for Smile. UMILE ひろしま」の最大化
広島県健康福祉局子供未来応援課様	広島県の全ての子どもが朝食を食べるにはどうするか

クライアント様のテーマ紹介・質疑応答

https://www.eikei.ac.jp/news/details_00874.html



フィールドワークの様子（昨年度の演習） — 東広島市や尾道市瀬戸田町など県内各所に出かけた。



最終報告会（昨年度の演習） — クライアント様のご様子

